



アンネのバラ

# 吉高人権だより

2024年 2月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

「思いやり」

地歴・公民科 谷本 裕雅

皆さんは、もし大切な人の耳が突然聞こえなくなったら何ができますか？手話を覚えますか？生活がしやすい環境を整えますか？私たちにできることは意外に少ないのかもしれませんが。

さて、話は少し変わりますが、私には好きなシンガーソングライターがいます。大石昌良さんという方です。その方は宇和島市出身で、同じ宇和島市出身の私からすれば、地元の大スターであり、勇気を与えてくれる存在でした。その大石昌良さんが作詞作曲した「耳の聞こえなくなった恋人とそのうたうたい」という曲があります。少し紹介させてください。

その曲は、大石昌良さんが自身の実話をもとに作った曲で、突発性難聴になってしまった恋人に届けなかった想いを歌にしているそうです。その曲の中には、突然耳が聞こえなくなってしまう恋人を想うフレーズがたくさんあります。耳が聞こえない人に、自分の想いをすべて余すことなく伝えるのは少し難易度が高いのではないかと思います。しかしそれは、その人のせいということではありません。お互いに悪くないのです。だからこそ、お互いが相手を思いやり、相手に合った形で向き合うことが大切なのだと考えます。人との対話の方法は、なにも口から発する言葉だけではありません。耳が聞こえない相手に対してだと、手話や筆談などが考えられるでしょう。この曲には、相手と真摯に向き合い、相手のことを理解し、心と心で会話をすること、それがきっと相手を思いやる、愛するという事です。というメッセージが込められているのだと私は考えています。

今回は耳に関する内容でしたが、これは他のどの特性にも当てはまるでしょう。世の中には目が見えない、手足が不自由など多様な特性を持っている人がいます。常に相手を思いやる気持ちを忘れずに過ごしていきたいですね。

## 【高校生のための DV 未然防止講座】



1月26日(金)、愛媛県男女共同参画センターから石丸世志さんを講師にお招きして、1・2年生を対象に高校生のためのDV未然防止講座が開かれました。DVが家族間だけでなく親しい関係の間でおこること、身体的な暴力だけではなく、精神的・経済的・社会的な制限や束縛などもDVにあたること、男性も5人に1人の割合でDVにあっていることなどを学びました。肝心なことは、対等な関係にある間柄ではDVは起こらないということで、お互いに対等な関係でいるのかどうか、チェックが必要だということを改めて考えさせられました。生徒の感想を紹介します。

DVについて詳しく知ることができました。女性も男性もパートナーからDVを受けたことがあると答えた人は、あまり差がないことに驚きました。私は今まで、DVは殴ることや大声で怒鳴ることだけだと思っていたので、たくさんの種類のDVがあることを知ることができました。これから今日学んだことを忘れずに、活かせる時に活かしていきたいと思います。

今回知ったデートDVは、今まではただの犯罪か、やばいやつの歪んだ愛情表現しかできないかわいそうな人かと思っていました。いろんな事がDVにあたると知って、少し驚きました。今回の講演はとても有意義なものになったと思います。今後もし、自分にパートナーができたら、自分も相手もこういうことをしないようにしたいです。

僕が特にこの講座で印象的だったことは、女性だけでなく、男性がDVを受けたという人数が思ったより多かったことです。もちろん暴力以外の割合などに男女差があるのかもしれませんが、身近にあるものだと実感しました。また、自分が相談されたときに、今までの自分なら「どうして～」と責めるようなことを言ってしまうかもしれないので、今日学んだとおり、相手に寄り添い、正しい対応ができるよう努力していきたいと思います。